

地域の現状と課題

地域の現状

- ◎ **世界遺産富士山**の構成資産（歴史・文化）
- ◎ 緑あふれる**森林資源**
- ◎ **富士山麓**の豊かな水資源と自然環境
- ◎ 高低差を活かした農産物や**食**によるまちづくり
- ◎ 観光、自然体験施設の充実（登山・キャンプ・レジャー）
- ◎ **日本三大急流**の富士川

課題

- ◎ 人口減少、少子高齢化
- ◎ 富士山麓の**自然環境と調和した景観保全**（周辺地域との広域的な取組・連携）
- ◎ **豊かな水資源**の保全と活用（水質保全、産業活用、富士川流域との連携）
- ◎ 森林の整備（**水源かん養**）
- ◎ 家畜排せつ物の**余剰堆肥、下水汚泥の活用**
- ◎ エネルギー費用の**域外流出**
- ◎ **自立分散型エネルギー**の推進（防災・減災）

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

- ◆ 豊富な水資源等活かした**再生可能エネルギー関連事業等の創出**（足腰の強い地域経済の構築、電力の地産地消）
- ◆ 家畜排せつ物や下水汚泥の**有効利用**
- ◆ 森林整備を促進（地場産木材「**富士ヒノキ**」の利活用）



(仮称)
富士宮市地域循環共生圏推進協議会

(仮称)富士宮市地域循環共生圏推進協議会

支援

エコツーリズム

レジャー・観光

畜産系バイオマス

木質系バイオマス

小水力発電

地域課題の共有 ⇒ **ビジネスチャンス**の可能性！
環境ビジネスの創出を支援する
富士宮版プラットフォームの構築

今後の事業取り組み予定

◆組織づくり

- ・多様な主体が課題を共有しながらその解決について研究し、新しい発想や仕組みなどを構築する
- ・既存団体との連携や協働を通じた実効性のある活動
(ふじのみや地球温暖化対策地域協議会、観光協会、森林組合、商工会議所、企業、環境活動団体、金融機関)

◆人材育成

- ・地域コーディネーターや地域のキーパーソンの発掘

◆「富士山と水」を環境保全の象徴としてブランド化

※組織づくりやビジネス化に向けて専門的なアドバイス、支援チームの派遣を希望。

スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定				●課題の把握 テーマの共有	●スケジュール、 プロジェクト目標	●会議・勉強会 意見を出し合う	事業の可能性 ・部会ごとに意見交換			●フィードバック		●まとめ
ステークホルダーの巻き込み			■活動団体 検討 ■庁内調整	■7月上旬 市関係課 説明会開催 ■7月中旬 企業・団体 説明会開催 ■7月下旬 金融機関	■協議会設立 準備会		■協議会設立 ■部会の構築・運営 ・エネルギー系 ・非エネルギー系					